



学校だより

薫る双葉

令和8年6月19日

～チームワーク・フットワーク・ネットワーク～

第4号

前号に引き続き、校外学習や〇〇教室で学びを得た、児童の感想紹介第2弾です。

5月27日 3年生 「町たんけん」

5月27日に、校外学習で町たんけんにいきました。えきの北がわをたんけんしました。えきの北がわでは、しらはたじんじゃと市やくしょとセレクト市場とえき前にいきました。しらはたじんじゃには、木がいっぱいあったり、たてものが高かったり、車が多かったりしてとても土地がわかりやすかったです。市やくしょには、しょくぶつがいっぱいありました。ほかに公共しせつとおみせがいっぱいありました。次にセレクト市場にいきました。でんちゅうがあったり、人がいっぱいいたりしました。えき前には、家がいっぱいあったり、じめんがコンクリートだったりして、すごいと思いました。みんなといけてたのしかったです。

【3年1組 田村 采子 さん】

ぼくは、校外学習でちようしえきの南と北がわについて調べました。南がわにはみようふく寺やいとく寺がありました。北がわには、白はたじんじゃやしやくしょやセレクト市場やちようしえきがありました。えきの南がわは、道が細くてお寺や家が多かったけど、北がわは、道が広くて高いたてものやタクシーやバスが多かったです。これからの学習でちようしえきの南がわと北がわのちがいをもっとしりたいです。

【3年2組 熊本 琉揮哉 さん】

6月10日 4年生 「クリーンセンター見学」

東総地区クリーンセンターへ行きました。ごみについて新しく知ったことや、びっくりしたことがたくさんありました。特にびっくりしたのは、高温でとかしたごみを冷たい水でひやすことです。ほかにも、外ににおいがもれないように環境対策をしておどろきました。エアーカーテンは、においがもれないようにしているそうです。クリーンセンターが地域のことをとても大切に考えていることがよく分かりました。私も、クリーンセンターの人たちのために分別などのできることをがんばろうと思います。

【4年1組 木村 佳穂 さん】

見学に行く前は、クリーンセンターはただゴミをもやすだけだと思っていたけど、色々な工ていがあるって、びっくりしました。例えば、みんなが出したゴミをねつでとかして残ったものが“スラグ”とよばれ、それを道路の材料にしていることです。ゴミが道路になるなんてすごいいと思いました。他にもゴミをもやす時に出るガスをパイプみたいなものに通してキレイな空気にする工夫をされていて、地球にやさしいと思いました。これから、作業している人達にめいわくをかけないように、ゴミの分別を心がけたいです。

【4年2組 石川 咲良 さん】

6月12日 3年生 「ヤクルト おなか元気教室」

6月12日におなか元気教室をしました。さいしょに小ちょうの長さをはかりました。小ちょうは、なんと5から6メートルもありました。

次に、大ちょうの大きさをはかりました。3年生の男の子よりも大ちょうのほうが大きかったです。わたしは男の子のほうが、大きいと思っていましたが、大ちょうのほうが大きかったので、びっくりしました。

さいごに、きんの重さをはかりました。きゅう食のぎゅうにゅう10個分でした。お手つだいの人たちはかなり重そうでした。これからは、じゅう分なすいみんをとり、朝ごはんをしっかり食べ、おなかを元気にしていきます。

【3年1組 木藤 萌結 さん】

わたしは、おなかの中にどんなものがあるのかをまなびました。

しょうちょうがすごく長かったです。うんちを出すためには、いろいろなものをすききらいしないでたべることがだいじだともいいました。

体の中のよいきんが、わるいきんをたおしてくれることもしりました。体のけんこうのために、よるははやくねようともいいます。

【3年2組 山崎 奏空 さん】

☆ 学校からのお願い ☆

1 時間感覚を養うための工夫（その2）

前回に引き続き、時間感覚を養うための工夫として、今回は具体的ななかかわり方に触れます。

前回の冒頭で、子供が遅刻を気にしない背景を理解し、コミュニケーションを通じて時間の大切さを教えていかなければならないことを説明しました。

では、どのような手立てが考えられるでしょうか？

まず一つ目は、「時間を守ることの大切さを学ぶ機会の提供」です。

例えば、家庭内での約束を設け、時間を守ることの重要性を実感させることです。（毎回家族全員が集まることは難しいかもしれませんが）特定の時間に家族全員が集まる夕食や、決まった時間に出かける予定を立てることによって、時間の価値を肌で感じることができます。

このように、日常生活の中で時間を守る重要性を学ぶ機会を提供することで、子どもは時間感覚を育みながら、日々の行動に反映させることができるようになります。

「時間を守ることの大切さを学ぶ機会の提供」は、学校生活でも同様です。

二つ目は「基本的生活習慣の確立」です。

特に、遅刻しないためには、基本的生活習慣の確立は不可欠です。

基本的生活習慣の確立には「早寝、早起き、朝ごはん」が大事、とよく言われます。

「早寝、早起き」とともに重要なのは、十分な睡眠の確保です。十分な睡眠時間を確保することで、朝の目覚めがスムーズになるとともに、就寝時間を一定に保つことで、体内時計が整い、朝の準備も楽になります。

次に、「朝ごはん」＝「朝食」です。朝食をしっかり食べることで、エネルギーが補給でき、集中力が高まります。簡単な野菜や果物、お米やパン、たんぱく質を含む食事により、元気に一日のスタートを切ることができます。

また、日中の運動も欠かせません。運動することでストレス解消や体力向上が期待できるだけでなく、規則正しい生活リズムが身につきます。

三つ目は「リラックスできる環境作り」です。

特に、朝の時間が慌ただしくならないよう、静かな空間を整えることが効果的です。子どもが安心して準備を進められるように、朝のルーティンを決め、心地よい雰囲気を保つことが大切です。

前回の繰り返しになりますが、時間を守る習慣が身に付くことで、学校生活だけでなく、将来的な社会生活にも役立つ基盤が築かれます。例えば、就職後も時間を守るできるようになれば、仕事に対する信頼感や責任感が増し、周囲からの評価も向上します。

さらに、時間管理能力が向上することで、自己管理ができるようになります。計画的に物事を進める力は、学業や人間関係においても重要であり、これが良い影響を与える要素となります。

ただ、これらを達成するためには、学校とご家庭の連携が不可欠です。

子供にとっての成長を促し、未来の可能性を広げるために、ご家庭と学校が今まで以上に連携を強めていけることを願っています。

銚子市立双葉小学校 校長 小林 健一